

日本パペットセラピー学会第18回大会

日本パペットセラピー学会第18回大会は、2024年9月29日（日）に開催されました。

【テーマ】子どものこころを育てるためのパペット教育～明日からの第一歩を踏み出すために～

【日時】2024年9月29日（日）9:30～16:30

【会場】東京家政大学 板橋キャンパス 14号館2階 142A 講義室

【大会長】近喰 ふじ子

【参加者】会員28名、非会員40名（内学生13名。講師・アルバイト含む）

【プログラム】以下のとおり

9月29日（日）

●受付・抄録集販売 9時15分～

大会 9時30分～16時

●開会の辞 9時30分

総合司会 高村 豊（副理事長）

●大会長挨拶及び大会長講演 9時35分～10時25分

座長 東 義也（理事長）

「『小児科診療』を通じて考える、こどものこころ」

～こどもの理解（どう育て、支援するのか）できていますか？～

講師 近喰 ふじ子（東京家政大学名誉教授／理事）

●招待講演 10時30分～11時30分

座長 原 美智子（名誉理事長）

「社会病理と心療内科医の視点」

講師 太田 大介（聖路加国際病院心療内科部長）

〈昼食・休憩及び書籍、教材等販売（～12:30）〉

●一般演題 12時45分～13時30分

座長 中下 富子（副理事長）

(1) 「ウクライナからの避難児の支援としてのパペットセラピー」

東海林 照子（笑顔がいっぱい保育腹話術『てるぼ』） 森平 直子（東京工業大学）

(2) 「小児に実施したパペット制作活動がもたらす治療的意味について考える」

南 めぐみ（やまだこどもクリニック） 近喰 ふじ子（東京家政大学大学院）

(3) 「マイパペットを造るという意味～年齢と国境を超えて」

東 義也（尚絅学院大学）

●シンポジウム 13時30分～14時30分 コメンテーター 原 純子（大阪公立大学大学院 在籍）

「不登校への対応としてのパペットセラピー」

話題提供 「訪問相談におけるパペットの活用」

ースマートフォンパペットを使って家に閉じこもる子どもとつながる試みー」

出山 雅章 （教育相談員・公認心理師）

「不登校への対応としてのパペットセラピー」

荷出 翠 （関西福祉科学大学 社会福祉学部福祉創造学科 専任講師）

●いじめ防止のための教育パペットシアター（幼児・小学校低学年編）14時40分～15時40分

座長（話題提供） 近喰 ふじ子（大会長）

パペット演者 安藤 倫子（ミネフジコ腹話術サロン主宰）

根岸 衣美子（立正大学社会福祉学部非常勤講師）

岡 信行（バンブリーナ工房・ソックスパペット工房主宰）

出山 雅章（千葉県子どもと親のサポートセンター教育相談員）

東海林 照子（笑顔がいっぱい保育腹話術てるぼ主宰）

小高 麗子（保育コンシェルジュ）

安藤 あゆみ（演劇ワークショップファシリテーター）

●閉会の辞 15時45分

高村 豊（副理事長）

総 会 16時00分～16時30分

議長 東 義也（理事長）

書記 矢崎 育子（理事）